

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09020030

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	2 林業の振興	事業優先度	B	
単位施策	1 生産体制の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	森林認証取得管理事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	町有林の森林認証取得及び管理		#N/A	
事業目標	森林認証面積 2,665ha	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	無	関係例規・法令名	無	
		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	・町有林の森林認証取得及び管理	管理審査	管理審査	森林認証取得	管理審査	管理審査
	事業費(千円)	1,010	110	110	550	120
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	1,010	110	110	550	120	120
実 績 事 業 費	事業費(千円)	113	113	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	113	113				
関 連 事 項	特定財源の名称	(実施内容等) 管理審査 2,665ha	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 町有林 2,665ha	町有林 2,665ha	町有林 2,720ha	町有林 2,720ha	町有林 2,720ha
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率 103%	0%	0%	0%	0%
		全体達成率 11%	11%	11%	11%	11%
	事業進捗状況	☆☆☆☆				

事業名	森林認証取得管理事業	評価者	管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者	作成者 職氏名	林務係長	福田 泰弘

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町有林	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	町有林の森林認証管理	
【抱える課題やニーズは】	地域材の需用、木材価格の低迷	指標(指標計算式/解説)	目標年度	平成25年度
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	地域材のブランド化、地材地消による地場産材の利用促進	① 森林認証管理審査面積 /森林認証管理審査の実績面積	目標値	2665 ha
			実績値	2665 ha
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	林業の振興、地域生産力の向上	②	達成度	100.0 %
			目標年度	平成25年度
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①森林認証管理	雄武町、興部町、西興部村及びオホーツク中央森林組合、雄武町森林組合が協定を締結し、それぞれが所有若しくは管理する森林を対象に、森林認証(SGEC)の管理を行った。	目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	地域材のブランド化、地材地消による地場産材の利用促進を図り、林業の振興、地域生産力の向上を目指す。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	当該事業を実施しない場合、森林資源の確保や町土の保全など
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	森林の持つ多面的な機能の有効活用に影響を及ぼす。

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	森林認証を取得したことにより、地域材がブランド化され、林業の振興、地域生産力の向上に繋がる。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	雄武町、興部町、西興部村及びオホーツク中央森林組合、雄武町森林組合が協定を締結し、協同で管理したことにより経費の節減が図られた。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	雄武町、興部町、西興部村及びオホーツク中央森林組合、雄武町森林組合で取得面積割合に応じて負担している。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
地域材のブランド化、林業の振興、地域生産力の向上に向け、計画どおり町有林の森林認証を管理することができた。		



継続/現状維持		
本事業は、認証取得による地域材のブランド化、地材地消による地場産材の利用促進を図るもので、優先して実施すべき事業であり、当分は現状維持が適当である。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止